

『助けたい』 作：ポチ子

あの人たちにとって私は、

助けたいと思うほど不幸ではないみたい。

生活も出来てるし、

複雑な家庭事情でもなく、

理不尽な目にもあつてない。

だから不幸ではないと決めつけられてるのかも。

それか、

大きな不幸は嘆くけど、

小さな不幸には目を向けない。

そう会議で決めているのかも。

不幸には、

見過ごしていい不幸と、

見過ごしちゃいけない不幸がある。

当たり前のようにしてるけど、

それって不幸を他人事と思っている証拠だ。

不幸の中にいる人は、

そんなこと思わないから。

自分の不幸しか見えない時、

大ききなんか比べられないでしょ。